

## 平成29年度町政懇談会（御所公民館）会議録

- <実施日> 平成29年7月3日（月） 午後6時30分～午後8時10分  
<場所> 御所公民館 大会議室  
<出席者> 谷町長、米澤副町長、吉川教育長  
米澤康成企画監、築場徳光企画監、若林武文企画監、高橋賢秀企画監  
古川端琴也企画監  
志田透長寿支援課課長、大久保浩和総合福祉課長、  
柳屋るり子健康推進課長  
司会：吉田留美子総務課長  
<参加者数> 24人

（懇談会の次第と要旨は以下のとおり）

- 1) 開 会 総務課長が開会を告げる
- 2) 出席者紹介及び事務連絡  
総務課長より谷町長、米澤副町長、吉川教育長、出席企画監、  
関係課長、事務局職員を紹介。  
総務課長より日程等を説明。
- 3) 町長挨拶、概要説明  
（下記記載のとおり）
- 4) 懇 談 （下記記載のとおり）
- 5) 所 感 （下記記載のとおり）
- 6) 閉 会 総務課長が閉会を告げた。

開会 （吉田総務課長）

### 《町長挨拶、概要説明》

夕食時 お忙しい中ありがとうございます。

特に御所地区については、小学校の統合があり、多くの皆さんに検討していただき4月から御所小学校が新しく開校しました。

140年を過ぎる歴史がこうなったのは寂しい思いもあつたと思います、慰労申し上げます。

昨日から今日にかけて九州の熊本、大分方面、中国地方で豪雨が降り続き、大変な災害だと思えます

東日本大震災から6年過ぎている。雫石町も豪雨災害から約4年になります。

油断のできない自然災害が頻発している、関係機関と団結して防災体制を整えなきゃな

いと思います。

(以下資料による事業説明)

・地域包括ケアシステムの構築について

《懇談》

町民：後期高齢者ですが、今、車を運転しているが免許を返さなきゃないと思っているが、  
雫石の町道にどの位の歩道があるか。

上下水道課長：詳しい延長などは手元に資料が無いのですが、幹線道路的な所、西根小学校  
付近や中学校、高校の道路など、県道には殆んどについている状況です。

町民：何キロメートル位、何パーセントですか。

上下水道課長：手元に資料は無いので後日お答えします。

町民：運転免許を返送した時、シルバーカー（シニアカー、電動車両）は歩道を走れると  
聞いたので、歩道のあるところを訊いた。

上下水道課長：詳しくは後でお知らせします。

基本的には、歩道の幅によっては自転車なども車道を走ることになります。

町民：人口減少について、3ページのグラフでは2000年までは生産人口は緩やかな下  
降ですが、それを境に、傾斜が大きい。それについての原因はわかりますか、推測で  
もOKです。当時私は町外在住だったため、よくわからないので。

企画財政課長：推測ですが、人口ビジョンを作ったとき、2000年位までは観光事業な  
どもうまくいっていた。森の風やプリンスホテルなどの従業員も多かったため、人口  
も増えてきたと思っています。

そのあとについては、観光だけじゃないですが、当町の場合若い女性の方が、結婚  
していない、子供を産んでいない、学生が進学で町外に出て行っているなどが人口減  
少の原因かと思っています。

町民：2000年を境目に、子供の場合、進学などで外に出ていく人が多い

企画財政課長：外に出ていくのは昔もあったが、そもそも20代30代の父母が少ないの  
が根底かと思う。

町民：年少人口と生産人口のカーブがずれていると思うが、2000年で何かあったかな。

企画財政課長：２０００年といっても、何か特には大きなものはないのです。

町長：雫石町の傾向として、結婚年齢が２３、２４歳位だったのが２７、２８歳とか３０歳とか、傾向が高くなっていく県内でも一番高い方です。

３年くらい前から、年間の出生数が１００人以上だったのが切るようになった、結婚しない比率も高い、何とか結婚できるような環境にしたいです。

総務課長：個人的な思いですが、このときは結構就職難でしたので、そんなものもあるのかと思う

町民：バブルですか、このときは、中央でしたが、それが地方にも影響を及ぼしたので、比較的求人の多い中央に行ったのか

町民：地域包括関係で県の方から聞いたのですが、和歌山県の御坊市の認知症チームとＪＡ青年部と手を組んでの成功例があったので、報告と資料を差し上げたいと思います。

長寿支援課長：ご助言、ご協力ありがとうございます。

昨晚、西山地区で開催した時に、出席した方々から認知症の方のご苦勞を聞きました、当町は県内でも認知症対策は比較的早い方です。行政だけでなく、警察、民間のご協力を頂いて頑張っています。

私達も継続して、認知症に対する深める取り組みも継続発展させていきます。

町民：各世帯によって、生活支援は少なくなっているとは思いますが、ほとんどの高齢者は国民年金だと思うが、そういう年金の少ない人が、介護施設に入れれないという状況にあると思う、介護する若い世代でも公募する人が少ない状況です。

地域包括ケアシステムは素晴らしいが、介護を担う人をどう補うのか。

特養的なものもまだ少ないと聞いている、日赤鶯鳴荘なども万床の状況で、介護する職員も少ないと聞いている。その辺もどう考えているのか。

長寿支援課長：昨晚も類似した質問を受けました。本日事業者にそのことを聞いたら、介護離職もあるが、仕事の苦勞もあるが、近辺では介護事業所の施設が増えてきて、求職も多くなってきている、あとは人間関係、職場関係の問題もあるとのこと。

町内事業者でも、待遇改善での給料加算などをやっている、ノウハウの蓄積向上では独自の研修会などを開いている。

鶯鳴荘などでは、独自に雫石高校の生徒などを対象とした研修などもやっている。地域包括ケアシステム策定では行政だけでなく、町内外の各関係機関との意見交換会もやっています。

町民：その辺も考えながら進めていただければ、最近はお老介護などの問題で殺人なども起きている。

長寿支援課長：計画策定によりすぐに解決とはいかないが、いろいろな検討を加えることが必要かと思います。

町民：病院に通う時、雫石町内中心地区に固まっているが、鶯宿温泉病院は送迎バスを出している。

鶯宿温泉病院以外に行くとき家族の送り迎えか、あねっこバスの場合もあるかもしれないが、かかりつけに行くときは、病院の前に止まらず、近くの停留所にしか止まらない。病院の巡回バスはないのか

町民課長：あねっこバスについては、以前は患者輸送バスが27年度まであり、御所地区と西山地区を走っていましたが、28年度から全部あねっこバスに変わりました。

御所地区も、新しく旭台と町場の方に線を作って対応しています。それぞれ停留所を設けて1路線1時間位で往復できるように組んでいます。

病院の巡回バスも考えなきゃないとは考えていますが、予算的な部分もあり、あねっこバスも利用率が低くなっています。老人や、観光客など全体的に考えなきゃないと思っています。実際乗ってみて、利用しやすい状況を模索している状況です。

町民：自分の家の前から乗るには目の前がいいのだろうけど、目的地ですが、各病院の入口の前に停留所を設けて、止まってほしいという声があります。

地区の公民館についても、地区の公民館で乗り降りでは無く、出来れば玄関先で乗り降りがいいという人もいます。

町民課長：雫石町診療所は止まるが、民間の病院もある、そういった病院の前で止められないかとの話もあるが、時間的な部分もあるし、足腰の部分ある、全体的な路線の時間な部分、他にも警察との立会いもあり安全確保の要請もあるため、そこも踏まえ場所の検討をしている。

各地域の住民の方がいっぱい乗り合わせていただける停留所を配慮しながらやっていきます。

町民：地域包括ケアシステムの事業はいつごろ実施の予定か

長寿支援課長：これまでも地域包括ケアシステムに値する機能をやってきました、今の予定では今年度中に計画策定、出来るものについては、来年度以降に取捨選択しながら、できるだけ早く取り組んでいこうと思っています。

町民や関係者へ聞いたところ、町民のニーズは主に医療と生活支援に集約されるので、計画策定に当たり4つの重点取り組み項目について話し合っています。

- 1、多職種の連携強化
- 2、情報の共有化、ネットワーク化
- 3、総合相談窓口の設置検討
- 4、地域における拠点づくりと生活支援体制の構築

広報紙でも特集のような形でお知らせしています。キーとなるのは、地域連携を強化していくことだと思います

2ページにあるように、自助互助公助共助が大事かと思う。特に自分での健康管理、健康意識さらに地域の方の積極的な支援が重要になるとおもいます。

役場の仕事を地域に押し付けるわけではなく、それぞれの役割分担でやっていこうと思っています。

町民：高齢者のケアとか、さびしい話ばかりで、町の活性化を考えなければ 人口も増えない。

新しく町に来たいと思っている若者も多い、空き家登録もないとなかなか借りれない、残念がっている人もいる。そういう人たちに、町の方で何か出来ないか 矢櫃とかも気に入ってもらえるが、空き家が無いので住めない。町で援助してほしい、その人たちはアイデアもあり町も明るくなる、人口が減るのは仕事が無いからだと思う。

色んなアイデアを持った人たちに、どんどん町に入ってもらって、人口を増やしていった方が良くと思う。

町長：願ってもない話です。では、町でどうするのかとなるが。

いま、町では地域おこし協力隊が定住して、空き家とかに入って町の支援をしてもらっている。

国の制度で採用しているが、今のような人が住む場所が無いので、空き家の調査が済んでいる、その空き家を所有者が貸してくれるのか、地域整備課でやっています。空き家対策でどのように活用しているか少し話をします。

上下水道課長：空き家調査は、2年くらい前に調査し、再度確認して歩いた。今はHPに載せている。

空き家については、その家の事情があるので、なかなか貸せない人もいるので、無理には言えないですが、また空き家対策として、空き家のリフォームの補助金も出しています。

町長：地域整備課が担当なので、相談に来てください

町民：知り合いで、移住したがっている人がいる。

(大学の先生で 猛禽類の研究者が土地を探している)

町長：定住促進住宅の上階の家賃を少し下げました、そうしたら入居率が上がりました。いま、70%近くまで高くなっています。

歩いて暮らせる居住がテーマなので、エレベータ整備などの構想も検討しています。新高前田住宅も人も物も高齢化している、長屋で古くなってきている、それを建て替えて福祉的なものも含めた町営住宅に出来ないか検討しています。

町民：防災について、当町でも大雨が有り、復旧してもらった、そのあと擁壁でなんとか防いで何とか耐えたが、また今度雨が来ると擁壁の裏が埋まっているのでそれを超えてくる。

普段だとそんなに流れていない川なども、埋まったままで、また雨が来ると道路を超えるような、そういうところがある。

なので、復旧のあとで、そのあとの対策はできないかと思っている。

前回、崩れたところは分かるので、そういう所に何か、対応できないのか。

町長 それは、住居のすぐ裏ですか。

町民：鶯宿入口の二股の所、擁壁で止まったが、つぎの雨では擁壁を超えると思う。

長栄館の裏のあたりの家もそのまま、鶯宿温泉神社のところも埋まったまま。

町長：町では危険箇所点検はしています。点検して危険箇所も確認しています。

持ち帰って、担当課に繋がりますので、すぐ確認するように。場所の案内をお願いします。

町民：小学校が減って、高齢者が増えるということでしょうが、これをやるために具体的なものが無いので何とも言えないが、私の集落では老人クラブが止めてきていて、代表のなり手もない、中間層としてふれあいサロンをつくってやっている 50後半から70位、会を作って、ふれあっているが、若い人たちとの触れ合いが無い。

例えば健康診断でも、受信者が多いとポイントを高くして、何かのケアをするとか、何か具体的なアイデアが欲しい。活動している所に補助とか

南畑はやっぱり学校の活用も含めて、各集落から集まって健康予防などの活性化をするとか。

町長：正にそういうことなので、そこに向かって、今度は小学校の活用を地域の人たちと相談してやっていくのですが、今度は色々な事が出来るので、そういう方向に行ければいいと思う

福祉協議会がやっているふれあいサロンとか、お年寄りが集まって、家の中にいないようにとやっているが、若い人たちも含めた交流が、今はあまりないので

健康推進課長：検診率を上げるためポイント制をやっている町もあります。

若者も含めた形となると、検診だけではなく進めていかなければならない、今後の検討の中で参考にさせていただきます。

検討委員会もあり専門の方も含めた会議もありますので、報告させていただきます。

町民：うちの部落は人口が少ないが、子供は多い、私たちも老人クラブをやめたくてもやっている。なので、若い人たちも私たちをみて頑張っていると思うので、歳をとっても、みんなで集まっているいろんなことをやるのが部落の力になると思う。

町民：質問です。4年前、豪雨災害の時、雫石町役場の駐車場が、水があふれて陸の孤島化しかかった。

町の役場が陸の孤島化しないような対策はあるのか。

町長：あの時は側溝に呑み込む能力がなかったが、その後、次の年に側溝を切り替えて、排水の経路を変え、断面もあげました。前よりは大丈夫だと思います。

町民：何年か前まで難視聴地域に対する補助金があったが、鶯宿地区は難視聴で、平成36に光ファイバーを計画している。NHKがお金を出してくれるが、各家庭の引き込みに設置する機器は自己負担ということで、戸当たり7万負担（2・3年前の価格）といわれている。

共聴組合でもお金を貯めてはいるが、各世帯へ7万円は出せないで、各世帯へはお金をためておくように言っている。

住民からは町の補助が出ないのかという話はある、補助を考えてほしいです。

総務課長：配線は業者負担だが、引き込みは自己負担と聞いたが、自己負担額は初めて聞いた。

町民：機械がそのくらいで、壁にコンセントが無ければもう少し増えるとのこと、

町民：うちの集落も4戸で共同アンテナですが、20年くらい前で800万といわれてNHKではじめたが、6万/戸でできた、聞いてみてはどうですか

町民：人口が減っているが動物が増えている、イノシシ、鹿、熊で困っている。

電牧やっているが、最近役場に補助申請したら、今年の分の補助は終わったと言われた、要望です。獣対策でなんとか予算を付けてほしい。

人口減少で、町に住まないと、住民を増やさないとダメなので、促進住宅、町営住宅の家賃を下げた雫石に住めるような環境にして。

誘致企業を手当てしてほしい。

雫石の議会ライブ映像をみて、前回の議会で、町内業者への発注が良いとか悪いとか言っているが、町内の業者を含めて地元が発注することが大事だと思う、地域が潤

えばいい。

懇談会はいい企画なのでもっとやってほしい。

農業委員会が集落を巡回して耕作放棄地を確認したが、そのままにしている、それを所有者や集落で確認して農地に回復してやればいいと思う。

農林課がやっている多面的事業とかで、それらを解消してやれば素晴らしいと思う。そうしないと2年ですごく荒れると思う、答弁不用です

公民館長へ、認知症予防とかでパソコン教室をやっているが西山だけだ、出来ればもっとやってほしい、各公民館でやってほしい、此処でもやれるようにしてほしい。

町民：御所小学校の入口、縁石を子供たちが跨いで入っている、横断歩道を作ってほしい。

学校教育課長：これまでも、小学校から要望があり、西警察の交通規制担当と協議したが、西警察からは「出来ない」との返事だったが、先日今年の視察では新しい担当者ができるかもしれないといていた。

7月12日に、学校教育課と防災課と西警察の担当と統合する学校の通学路を再度点検することにしました。

上下水道課長：先ほどの空き家の件 空き家バンク登録が条件のようです。

〈所感〉

ありがとうございました テーマはテーマとしていろいろお話をいただいた

至急できるものは至急します

町役場総動員でやっていきますので、お気づきの点要望ありましたら言ってください  
今後ともご協力をよろしくお願いします。